

聾学校地域支援だより

2学期の勉強もがんばっていますか？みなさん元気に過ごしていますか？
今後も新型コロナウイルス感染症に注意しながら、一緒にがんばりましょう。



地域の先生方と研修をしました



地域の難聴学級の先生方や、通級指導教室の先生方とオンラインによる研修を実施しました。

10月5日には、小中学校の難聴学級担任の先生方と研修を行いました。「難聴について周りにどのように伝えているか」「学年の異なる児童と一緒に指導する時の工夫」「補聴システムの使い方」「進学について」「ことばの指導」など、様々な話題について話し合いました。校内では、なかなか難聴について話し合う機会がないという先生が多く、日頃の指導について同じ立場の方と情報交換をする有意義な時間となりました。

10月26日には、通級指導教室で難聴のお子さんを担当している先生方と研修を行いました。「在籍校との連携」や「ことばの指導」「進学について」などが話題になりました。通級指導教室を利用する難聴のお子さんは全体から見ると少数で、担当される先生方は不安を感じるようです。しかし、難聴のお子さんを担当する経験は少なくても、これまでたくさんのお子さんを担当してきたノウハウを難聴のお子さんの指導や支援に生かしていけることがわかりました。

11月16日には3回目の研修を実施しました。これまで参加できなかった先生方の参加もあり、同じ課題に向き合う仲間の輪が広がりました。

オンラインの実施ということで、それぞれの学校から、授業時間の終了にあわせて参加される先生もいらっしゃいました。新しい形での研修の可能性も感じることができました。

<教室よいおねがい>

感染症拡大防止に
ご協力ください



- ① 検温・手指消毒をお願いします。
- ② 健康状態の確認をさせてください。
- ③ マスクの着用（*不織布マスクをお願いします）
- ④ 上履きをお持ちください。
- ⑤ 風邪などの症状がある場合は、お休みしてください

親の交流会を実施しました



11月13日（土曜日）、オンラインで会員のみなさまと交流会を実施しました！

○難聴の子の育児で心がけていること。学校や友だちとの集団生活のことで本人にアドバイスしていること

「聞こえたつもりになっていることがある。重要なことは確認するようにしている。」

「助けてもらうのは当たり前ではない。必ずお礼を言うことを忘れないように話している。」

○連絡事項などの聞き漏らしについて

「教室以外の場所での聞き漏らしがある。部活で支度をしている時に先生が言ったことなどが伝わらない。先生は伝わったと思っている。『聞き返すのはかっこ悪い』と思う年頃。お弁当がいらがないのに持って行ってしまった。すごく困るわけではないことはそのままにしてしまうことがある。」

「中学生になると小学生とはちがう。周りの目を気にする。聞き漏らして失敗することを避けたいから情報をちゃんと聞こうとする。」

○学校での支援・担任との連携について

「学校行事の前には実施内容について担任が確認してくれる。リモートでの学習が始まる時には、あらかじめ練習をしてくれた。」

○進路について

・高校や大学の入試や入学後についてスライドを使って皆さんと確認しました。合理的配慮に関する内容などが話題になりました。

・高校生の保護者からの体験談を聞きました。

「親がひとりで志望高校に行って話した。受け入れは良かった。入学してみたら、支援について非常勤の先生に伝わっていないことがあった。現実は違うことがわかった。」

「高校見学会に参加した。個別相談コーナーで難聴への対応について相談した。集団面接を個別にしてもらった。集団面接でないとだめと言われた学校では、口形がよく見えるようにまん中の席にしてもらった。私立高校では、入学後の対応をはっきり拒否のところも。受験の目安になった。」

参加されたみなさまからは、「実際会って話したかった。」と前置きしつつも、「皆さんと話す希望が持てる。」「毎回参加して参考になる、これからも情報交換したい。」と、好評でした。

聾学校で文化祭が行われました

10月8日（金曜日）、聾学校で文化祭が行われました。感染症対策のため今回は保護者の方のみの参加でしたが、劇やダンス、作品の展示など、各学部とも練習の成果が現れた素晴らしい文化祭となりました。

地域支援部は展示で参加しました。巡回指導の様子、難聴理解授業の様子、専門アドバイザーのサポート事業、そして日頃の指導の様子です。3階相談室横に掲示しています。聾学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。

